

特集

川と生きる。

欧米の川には堤防がないのに、なんで日本の川には堤防を作ってしまうんだらう？



という疑問を持ったあまいろ探偵団は川のエキスパートである瀧さんと川チャリに行きました。

瀧さんのおすすめの川は、『霞堤』という昔ながらの堤防を多数のこす天の川(米原市)でした。

河口から出発して、醒ヶ井でランチ休憩してから引き返すというコース。川の様子が見えるポイントで瀧さんのお話を聞きながらの川チャリでした。



お話を伺ったのは…

瀧 健太郎 さん

TAKI Kentaro

滋賀県立大学 環境科学部
環境政策・計画学科 准教授

川の日(7月7日)生まれ。大学院修了後、民間企業を経て滋賀県庁勤務(18年間)ののち現職。河川・流域政策の実務を長年にわたって担当しました。国内外のたくさんの川やそこに携わる人びととの出会いを通じて、地域に愛される川こそが「いい川」だと信じるようになりました。



川を生きる

瀧 ほらほら大きい魚が泳いでる泳いでる。大きいのが向こうから来る。ここ、今下流に向かって立っているのに、水が流れてないように見えますよね。もともと、天の川は川底が高くて、さーっと琵琶湖に水が流れてたんですけど、治水(溢れさせない)のために川底を掘ったんです。で、川底を掘るとどうなるかと言うと、琵琶湖の水が入ってきますよね。だから流れがないように見えるんです。琵琶湖が増えると思ってください。

でもこうやって掘ってあげないと、周りの人たちが災害に困ることもあるので、こういう風にバランスを取るかはとても難しいですね。

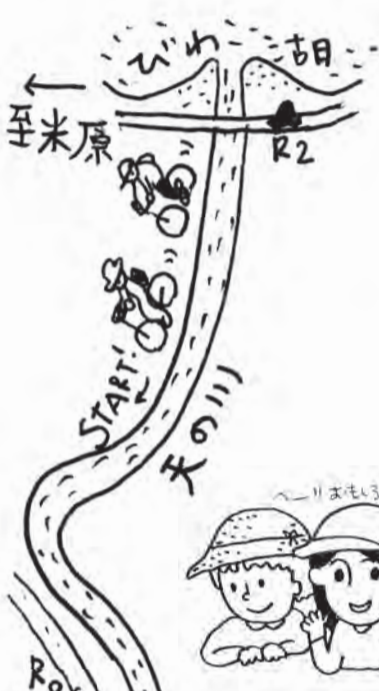
で、アユとかビワマスは、洪

都市計画

瀧 堤防が作られたあとに浸水危険地域に新興住宅ができてしまふ、というのがなかなか防げないんです。

あまいろ でもそういう所に家を建てるには、なんか認可が必要なんじゃないの？

瀧 それが必要なんです。で新しく認可が必要なような条例を作ったんです。一〇一四年です。深く浸水する所は最初からまちづくりは止めておこうよ、田んぼの風景のままがいいやん、ていうのをやっと最近滋



賀県でやりはじめたところなんです。で、たぶん日本でそういう事をやり始めてくるようになるはずなんです。ひとりでも人が住んでると、ダムを作っても人の命を守らんとアカンとなってしまふので、やっぱり無秩序に市街地が発展しないようにするのも、大事だったりします。これからは人口も減っていくんで、コンクリートで川を守らなければならぬ所が減れば減るほど自然が戻って来ると思えます。

天の川

瀧 日本の法律では、洪水を川から溢れさせないように治水をしようってことになっていて、今ではどこも連続した堤防を作って、洪水を川の中から溢れさせないようにしてるんですけれど、昔は霞堤(かすみでい)と言って、所々に堤防をきって、水が溢れてもいい所に水を溢れさせる工夫をしていたんです。

そんな霞堤が天の川にはたくさん残っています。もともと『手を付けた』のは幕末の彦根藩主井伊直弼だそうなんです。その霞堤付近のしよっちゅう浸水する地域はみんな豊かな田んぼです。生態系もすごくいい。さらに大きなダムもないので、ビワマスやアユがたくさん上がる、すごく健全な川のひとつです。

霞堤

瀧 これが霞堤という堤防です。(戦国時代からの)日本の伝統的な治水技術で、これがあるとどんな洪水でも町が守られるっていうすごい工夫なんです。普通の堤防っていうのはずーっとつながっているんですけど、霞堤だと、堤防が切れ開いてるんです。(※①図)

で、洪水の時に川が溢れそうになったら、この開いているところから逆流して、ここ(遊水池)に水を貯めるんですね。その代わりね、ここにもうひとつ控えの堤防があるんです。(※②図)控えの堤防があるおかげで集落が守られるんですね。で、この逆流した水がたまる所には田んぼがあるんですけど、川の泥水が入らないように大体入り口には竹やぶがあったりして、勢いを殺してふわーっと水が入ってきて、ふわーっと流れていくって仕組みになってます。



瀧さん

湖岸の砂浜って、川が運んできた土砂が琵琶湖に流れ着いてそれで砂浜が出来てます。なので、川から土砂が運ばれてこなくなったら湖岸の砂浜がなくなってしまうよ。

とこどこ川底が下がっていつてらんがわかります？昔は山が荒れてたんで、なので、洪水の度に山の土砂がどんどん川に流されていつてたんですけど、今は森が豊かすぎるんです。森の面積や量はここ三〇〇年の日本の歴史の中で一番豊かなんです。だから山から土砂がほとんど流れてこなくなっている、川底がどんどん下がっているよ。

人権と環境権

瀧 これが魚道です。ここはアユの保護水面なので、アユとかビワマスが育つようにと、行政としてもこういう所に税金を投入しやういんです。人の命のための整備だったらお金はいくらでも持つてこられるんですけど、魚のためになると難しいんです。けど、水産資源だったら漁業者さん(人)のためにになりますよね。日本国憲法で環境権が保障されてないから、ただただ生き物のために税金をってというのがすごく難しいんです。ひいてはそれが人間のためになる、っていう説明をしないといけない。もつと遠い未来の生態系を守っていかないといけないという世論が大きくなったらいのですが。



※① 堤防が開いている。田々畑や竹林になっている。



※② 控えの堤防があるから水を導く。あふれた水は、再びもとの川に戻っていく。

「洪水」の定義とは…

①降雨・雪どけなどによって、河川の水量が平常よりも増加すること。また、堤防から氾濫し流れ出すこと。おおみず。広辞苑第五版より

